

令和7年3月 斐伊川水系水質情報

令和7年3月(宍道湖1日・中海9日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	3.3	△	やや低い	3.0	○	良好(平年並み)	3.6	△	平年並み
全窒素	上層	0.50	△	平年並み	0.43	△	平年並み	0.49	△	平年並み
全リン	上層	0.026	○	良好(平年並み)	0.026	○	良好(平年並み)	0.028	○	良 好
Chl-a	上層	10	△	平年並み	10	△	平年並み	9.5	△	平年並み
塩化物イオン	上層	2,500	△	平年並み	3,430	◎	かなり低い	3,190	◎	かなり低い
	下層	2,660	△	平年並み	14,600	○	やや低い	8,650	○	やや低い
溶 存 酸 素	上層	13.5		やや高い	12.9		かなり高い	12.9		やや高い
	下層	13.1		やや高い	6.1		平年並み	10.3		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	4. 4	下降	3. 1	横ばい	3. 3	横ばい
全窒素	上層	0. 46	横ばい	0. 32	上昇	0. 48	横ばい
全リン	上層	0. 047	下降	0. 026	横ばい	0. 042	やや下降

中央湖の透明度は1.4mから2.0mと上昇し、良好。中海の透明度は2.4mから2.0mとやや下降し、平年並み。米子湾の透明度は2.2mから1.9mとやや下降し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の３倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の２倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 １０年間平均値	↑	△	<平年並み>
平均値－標準偏差値	↓		ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値－標準偏差値の２倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い>（塩化物イオン）
平均値－標準偏差値の３倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い>（塩化物イオン）

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の 1/2 以上、以下の変化・・・やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍・・全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の 1/2 以内の変化・横ばい

平均値±標準偏差値の3倍・・全体のおよそ 99.7%